

# 平成26年第5回東大和市議会建設環境委員会記録

平成26年9月12日（金曜日）

---

## 出席委員（7名）

委員長	関野杜成君	副委員長	森田真一君
委員	実川圭子君	委員	和地仁美君
委員	根岸聡彦君	委員	森田憲二君
委員	御殿谷一彦君		

## 欠席委員（なし）

## 委員外議員（1名）

議長 尾崎信夫君

## 議会事務局職員（4名）

事務局長	関田新一君	事務局次長	長島孝夫君
議事係長	尾崎潔君	主事	吉川和宏君

## 出席説明員（3名）

副市長	小島昇公君	都市建設部長	内藤峰雄君
土木課長	寺島由紀夫君		

## 会議に付した案件

### （1）所管事務調査

市内の橋梁について

午前 9時29分 開議

○委員長（関野杜成君） ただいまから平成26年第5回東大和市議会建設環境委員会を開会いたします。

○委員長（関野杜成君） 所管事務調査 市内の橋梁について、本件を議題に供します。

所管事務調査 家庭系廃棄物減量推進と有料化については、皆様の御協力をいただき、去る6月の市議会定例会で調査結果について報告することができました。

もう一方の所管事務調査 市内の橋梁については、資料として橋梁現状調書が市側から提供され、説明を受けました。また、点検調査が行われている現地の視察も行いました。

その後、市側から資料として橋梁点検調査委託報告書が提供され、説明を受けました。

以上が現在の調査状況でございます。

橋梁長寿命化修繕計画については、策定業務を委託されているところではありますが、現段階で市側から報告いただけることがございましたら、発言をお願いいたします。

○土木課長（寺島由紀夫君） 昨年度橋梁点検を行いまして、今年度橋梁の長寿命化計画を策定しているところでございます。その進捗状況について、御説明申し上げます。

件名が東大和市橋梁長寿命化修繕計画策定委託というものでございます。

委託期間は、平成26年7月14日から平成27年3月13日までの委託期間でございます。

調査橋梁数でございますが、52橋となっております。

橋梁点検のときには58橋ございましたが、52橋となっております。

その理由でございますが、東京都の都道128号線の工事の関係で都道区域内に入ったものが2橋、それを抜いております。それから、武蔵村山市管理の2橋、これも抜いております。それから、小平市管理の橋が1橋、それから市の六小の前にあります歩道橋、これは橋梁に値しませんので除いております。これら6橋引いたもの、52橋を長寿命化計画の中で策定しているところでございます。

現在の進捗状況でございますが、現地踏査行いました。策定に先立ちまして現地踏査を行い、平成25年度に実施しました橋梁点検結果との整合の確認を行っております。その後、業務計画書の作成ということで、平成25年度の点検調査概要、それから点検調査結果及び各橋の損傷評価、それから長寿命化修繕計画の策定方法ということで、業務計画書の作成をしております。これにつきましては、基本方針を定め、業務計画書を作成したものでございます。

この作成した段階で、学識経験者から第1回の意見聴取を行っております。8月29日に学識経験者であります法政大学の教授の方に意見聴取を実施しまして、以下の2点についてちょっと指摘ございました。

1点目は、RC床版橋のコンクリートの鉄筋露出の原因が中性化による原因であれば、床版端部だけではなく、中央部の鉄筋腐食によりコンクリートが剥落するおそれがあるということで、このような鉄筋露出はかぶり不足による中性化が考えられるため、RC床版橋を対象に中性化深さ等を調べる必要があるというような意見がありまして、ここで追加調査を実施することになりました。

もう1点が、上砂二の橋におきまして、路面のポットホール、路面のアスファルト舗装のひび割れのところでございますが、そのことにつきまして、損傷部を試験掘りして、それが舗装だけではなく、床版部まで損傷しているかどうかを確認する必要があるということで、これは市のほうの職員で試験掘りをして確認する予定でございます。

以上のことが学識経験者のほうから意見聴取でありました。

今後の予定でございますが、今お話ししました追加調査による現地測定と現地橋面舗装部の試験掘り、それが終わりましたら長寿命化修繕計画の策定を行います。策定ができましたら、国土交通省へ提出資料の作成が  
ございます。その後計画の公表、ホームページでの公表という形になります。その間に、また学識経験者の意見聴取をあと2回ほど予定してございます。第2回については11月末ごろを予定しておりまして、計画の素案ができた段階で確認をしていただく予定でございます。最後の第3回につきましては、2月に計画書が最終的にできた段階で、最終確認をしていただく予定でございます。

以上でございます。

○委員長（関野杜成君） ただいまの報告に対しまして、質疑や御意見等ありましたら御発言願います。

○委員（森田憲二君） 今報告の中で、学識経験者からの話ということで、コンクリートの剥落云々なんとか、これは何カ所ぐらい現段階では確認しているのか、お願いします。

○土木課長（寺島由紀夫君） 今まで調査した中で、RC床版橋ということで、調査する箇所が11橋ということになってございます。

以上でございます。

○委員長（関野杜成君） ほかにございますか。

では、こちらに対しての質疑等はよろしいですか。

[発言する者なし]

○委員長（関野杜成君） それと、以前森田憲二委員より、災害時、橋が壊れた場合の迂回等の対応についてというのをこの橋梁の調査のときに発言をいただいております。そのときの議事録を確認しますと、現地調査も含めた調査を行いたい旨の提案がありました。

この件について、委員会として調査を行うかどうか本日御協議をしたいと思いますが、そのときに発言をいただいた森田憲二委員より、御提案の趣旨について、もう一度御発言をお願いしたいと思います。

○委員（森田憲二君） 古い話じゃないんですけど、結果的に今の集中豪雨、全国的に展開されておりますけど、いつ大和で起こるかかわからないと。当時はそんなこと考えてはいなかったんですけど、なるべく早急のうちに調査をしたほうがいいんじゃないかと、改めて委員長にお願いしたいと。

それから、議題は違うんですけど、今報告でありました11橋のコンクリートの剥離とかそういったことも、どこの場所がそうなのかも、できれば全箇所行きたいですけど、時間的に許される範囲で何カ所か一緒に見られたらいいかなというふうに思っております。

以上です。

○委員長（関野杜成君） ありがとうございます。それでは、この件について御意見等ございましたら、御発言お願いいたします。

○委員（和地仁美君） 現地調査については賛同するところなんですけど、災害時にどこの橋が落ちたときに、こちらに迂回してもらうというような計画というか、そういう案というものは現在市のほうでは準備しているのかどうか。しているのなら、それに沿って現地を確認するし、ないのであった場合には、どういったポイントで現地に行って、その状況を確認するのかということのをちょっと整理してから行ったほうがいいんじゃないかと思うんですけど。

○都市建設部長（内藤峰雄君） 災害時に、例で言えば、どこの橋が落ちた場合には、どのような対策をとるか

というようなことをあらかじめ想定、都市建設部として、道路管理者として想定はしてございません。災害が起きた場合には、災害対策本部が敷かれて、そちらでの対策をとることになりますので、橋がもし落ちた場合には通行どめ、または迂回の措置といったものは災害対策のほうでその状況等を見ながら検討していく。二次災害が起きないような対策をとるといったような地域防災計画に基づいた活動になりますので、現段階でそれぞれの橋について、そのようなもしものことで迂回をどうするかといったような計画といったものは持ち合わせてございません。

以上でございます。

○委員（和地仁美君） 具体的な計画はないということだったんですが、先日実施された橋梁の調査、長寿命化をする前段階の現状確認という調査をされていると思うんですけども、例えば空堀川なり何なり、川を挟んで、反対側に行くのに、幾つかルートがあると思うんですけども、そのルートの中で、この橋は落ちやすいというか、危険度が高いから、もうそこは、要するにその中の優先順位みたいなもの、要するに同じ方向に行くのに、安全度というか、その優先順位みたいなものも決まっではないんですかね。

○土木課長（寺島由紀夫君） ただいまの御質問でございますが、そのような形で調査といたしますか、研究したことはございませんが、例えば空堀川につきましては、最近橋のかけかえがございまして、それほどではないかと思うんですけど、奈良橋川につきましてはかなり古い橋がございまして、そちらのほうが大地震とかあったときには、先に落ちてしまうようなおそれはありますけども、橋梁点検の中ではすぐ落ちるというものはございませんので、今回の修繕計画策定も、その橋がさらに寿命が延びるような形でやっておりますので、そういうことは今の段階では検討してはございません。

以上でございます。

○委員長（関野杜成君） ほかに御意見等ございますか。

○委員（御殿谷一彦君） 調査自体は非常に有効だと思うんですけども、縦割り、横割りというか、その問題、私は本来ごっちゃんに一つのプロジェクトでみんなが一緒になってやるって非常に大好きなんですけども、本来防災というのは総務関係ではないかなとちょっと私は思っているんですけど、その辺の役割分担を、こっちが越境していくような感じがあるんで、そういう組織論の話なんですけども、いいのか。ちょっと総務との話し合いというか、俺のところまで来るなどと言われることはないと思いますけども、その辺をちょっと調整しておかないと、そこまで入っていいのかどうか、ちょっと考えなければいけないんじゃないかと思っております。

○委員長（関野杜成君） 今の御殿谷委員の御意見に関しましては、防災というふうになると、確かにそういった総務というところになるとは思うんですけど、都市建設部のほうでこの橋梁に関しては、今回都市建設部でするので、そういう意味では建設環境委員会という、確かに今御殿谷委員のおっしゃられたような部分で、総務じゃないか、建環じゃないかと、微妙な部分でもあると思います。ただ、せっかく今回こういった形で橋梁をやっているんで、出るのかもしれませんが、その部分も一緒にやればと、委員のほうから出ておりますので。

逆にそこで必要ないだろうということであれば、今回はその調査は追加ではいたしませんし、先ほど課長のほうからもありましたコンクリートの剥落等も、そういったことがあり得るんじゃないかという、新しいことも出てきましたので、できればそういった形で一緒にやれたらなというふうに私どもは思っているんですけども、皆さんから御意見がそれに対してございましたら、もう一度お受けいたしますが、いかがでしょうか。

暫時休憩いたします。

午前 9時44分 休憩

---

午前 9時49分 開議

○委員長（関野杜成君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

今森田委員のほうからありました御発言に対して、この現地調査を行うことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関野杜成君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

また、日程、あと調査箇所については、皆様の御意見がございましたら、今月中に正副のほうに言っていた  
だき、また正副のほうで日程、調査箇所などは御一任いただきたいと思います。それについても御異議ござ  
いせんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関野杜成君） ありがとうございます。

それでは、お諮りいたします。

所管事務調査 市内の橋梁についての本日の調査はこの程度にとどめたいと思いますが、これに御異議ござ  
いせんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関野杜成君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

---

○委員長（関野杜成君） これをもって、平成26年第5回東大和市議会建設環境委員会を散会いたします。

午前 9時51分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 関 野 杜 成